

論題
「セブン-イレブン・ジャパンの値引き
販売制限は正当である」

第6班

論点

1

値引き販売制限は優越的地位の濫用に該当するか否か

2

値引き販売制限は経済合理性が高いか否か

肯定側主張

1

該当しないから値引き販売制限は正当である

2

経済合理性が高いから値引き販売制限は正当である

論点1

値引き販売制限は優越的地位の濫用に該当しない

論点1

値引き販売は優越的地位の濫用に該当しない

□本店が搾取しているわけではない

- 年間1200億(1061万円/店舗)の加盟店支援
- テレビ広告、システム開発などの投資も加盟店の利益

□加盟店基本契約より

- 発注する商品・数量の決定権は加盟店側にあり、その営業活動で発生する廃棄ロスが加盟店の負担

値引き販売は短期的な

利益を求める加盟店の身勝手な行動

論点1

値引き販売は優越的地位の濫用に該当しない

本店と加盟店との間の

適正で互恵の取引関係

加盟店の適切な営業活動

本店の適切な指導及び援助

セブンイレブン全体の繁栄

値引き販売制限は

「営業を的確に実施する」努力の範囲内

論点2

値引き販売制限は経済合理性が高い

論点2

経済合理性が高いから値引き販売制限は正当である

□フランチャイズ・システムにおける取引関係の基本

- 営業に対する第3者の統一的イメージを確保し、加盟者の営業を維持する為の加盟者の統制、指導等に関するもの

□見切り販売の制限

- 廃棄ロス原価を含む売上総利益がロイヤルティの算定の基準となる場合において、本部が加盟者に対して、正当な理由がないのに、品質が急速に低下する商品などの見切り販売を制限し、売れ残りとして廃棄する事を余儀なくさせること

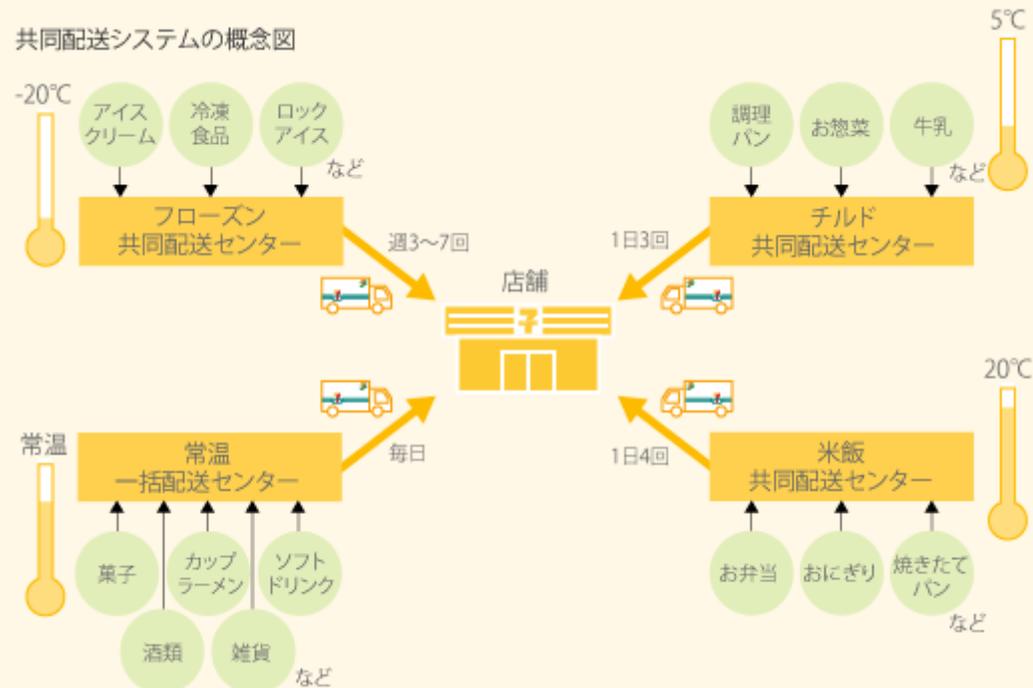
論点2

経済合理性が高いから値引き販売制限は正当である

セブンイレブンの社会・環境活動

- ▶ 「商品」の安全・安心
- ▶ 「物流」の効率化
- ▶ 「店舗建築・設備」の環境配慮

共同配送システムの概念図

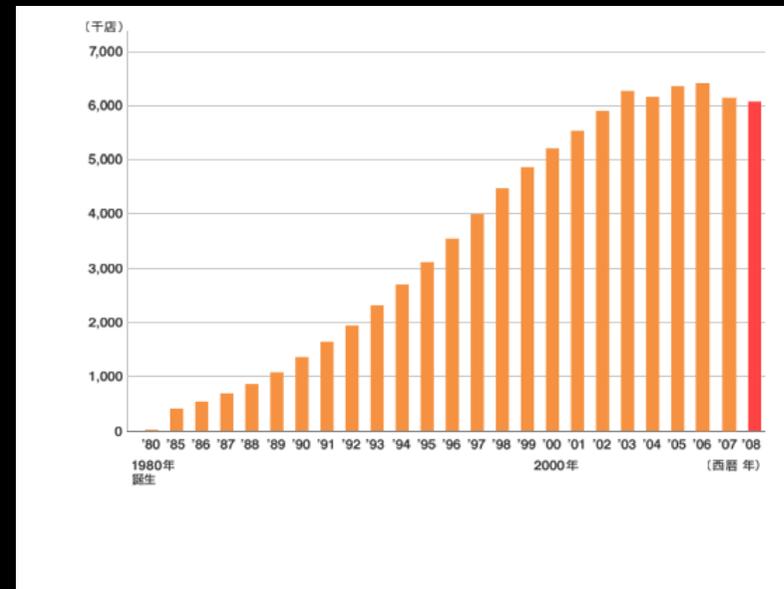
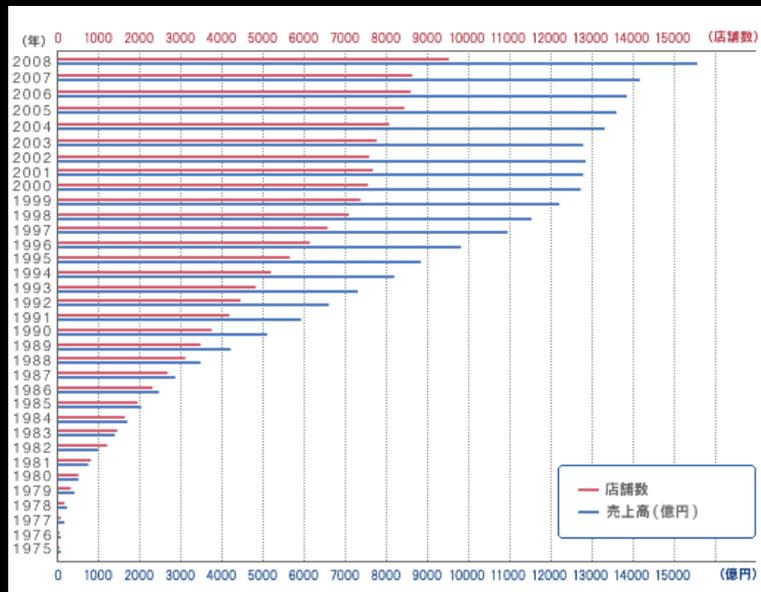


食の安全・安心に力を入れている

論点2

経済合理性が高いから値引き販売制限は正当である

□他のコンビニとの競争が非常に厳しい



セブン-イレブン全体として競争すべき

論点2

経済合理性が高いから値引き販売制限は正当である

全体としての損害

加盟店が独自に利益追求

他社との競争に不利になる

値引き販売制限で全体最適を追求

値引き販売制限は
経済合理性が高いので正当である

参考文献

- 社団法人日本フランチャイズチェーン協会 フランチャイズハンドブック 株式会社 商業界 2003
- <http://www.sej.co.jp/index.html>